

平成 29 年度仙台市認知症対策事業の実績

1 概要

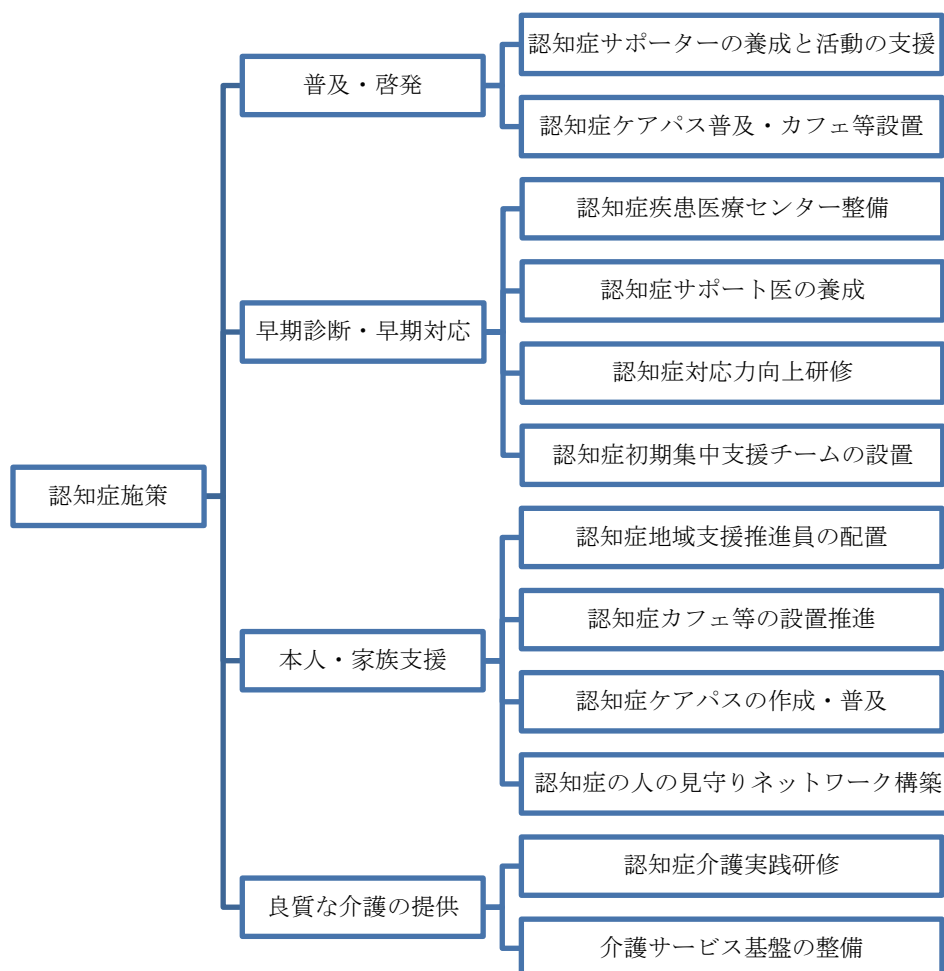
平成 30 年 4 月 1 日現在、本市の住民基本台帳人口は 1,056,602 人（前年同時期 1,053,717 人）、そのうち 65 歳以上人口は 245,978 人（同 239,903 人）であり、高齢化率は 23.3%（同 22.8%）となっている。

厚生労働省の認知症高齢者人口調査（平成 27 年 3 月公表）をもとに推計すると、本市の認知症高齢者は平成 28 年には約 3 万 5 千人、団塊の世代が 75 歳以上となる平成 37 年（2025 年）には約 6 万人になると予想される。

このような状況のもと、平成 27 年 1 月に厚生労働省より、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現すべく「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）が公表された。

本市では、新オレンジプランに示される施策と目標に基づき認知症対策を推進している。

【仙台市の主な認知症施策】



2 主な認知症対策事業

(1) 普及啓発の取組み

①認知症サポーターの養成と活動の支援

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やその家族を手助けする認知症サポーターを養成している。

【新オレンジプラン目標】[全国養成者数]平成 32 年度末 1,200 万人（累計）

【表 1】<本市における認知症サポーター養成者数推移>

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
養成講座開催数	161 回	213 回	278 回	322 回	309 回
養成者数	6,306 人	7,840 人	10,689 人	12,333 人	11,891 人
養成者数（累計）	29,458 人	37,298 人	47,987 人	60,320 人	72,211 人

②キャラバン・メイトの養成

認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトを養成している。

【表 2】<本市におけるキャラバン・メイト養成者数推移>

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
養成者数	48 人	45 人	60 人	66 人	57 人
養成者数（累計）	472 人	517 人	577 人	643 人	700 人

キャラバン・メイトとしての活動や日常業務に役立ててもらうことを目的として、キャラバン・メイトネットワークに登録いただいた方あてに、認知症に関する研修やイベント、最新情報などを不定期にメール配信している。

(2) 早期診断・早期対応のための体制整備

①認知症疾患医療センターの整備

認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行う認知症疾患医療センターを整備する。

【新オレンジプラン目標】[全国]認知症疾患医療センター整備数 平成 32 年度末 約 500 か所（二次医療圏域に 1 か所以上、高齢者人口 6 万人に 1 か所程度）

【表 3】<本市が指定している認知症疾患医療センター一覧>

医療機関名	所在地	指定日
いずみの杜診療所	泉区松森字下町 8-1	平成 26 年 9 月 1 日
仙台西多賀病院	太白区鉤取本町 2-11-11	平成 27 年 9 月 1 日
東北医科薬科大学病院	宮城野区福室 1-12-1	平成 28 年 8 月 1 日
東北福祉大学せんだんホスピタル	青葉区国見ヶ丘 6-65-8	平成 28 年 8 月 1 日

②認知症サポート医の養成

かかりつけ医の認知症対応力を向上させるための研修講師や、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役等の役割を担う認知症サポート医の養成を進めている。

認知症サポート医は、認知症疾患医療センター、仙台市医師会等とともに企画会議に参加し、地域医療体制についての意見交換、課題の共有、研修内容の検討等を行う役割も担っている。

【新オレンジプラン目標】[全国]認知症サポート医（累計）平成 32 年度末 1 万人
（一般診療所 10 か所に対して 1 人配置という基本的考え方）

【表 4】<本市における認知症サポート医の養成者数推移>

	H17～ 24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
養成者数	11 人	1 人	4 人	4 人	12 人	13 人
養成者数（累計）	11 人	12 人	16 人	20 人	32 人	45 人

認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者の情報は仙台市ホームページに掲載。

③認知症対応力向上研修の実施

高齢者が日頃より受診する医療機関等に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人やその家族を支える知識と方法を習得するための研修等を実施。

<本市の取組み状況>

ア) 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

【日時】平成 29 年 10 月 31 日（火）17 時 20 分～20 時

【受講者】JCHO 仙台南病院に勤務する医師、看護師、介護福祉士等 139 名

イ) かかりつけ医向け認知症対応力向上講座

【日時】平成 30 年 1 月 27 日（土）14 時～17 時

【受講者】医師 31 名

ウ) 歯科医師認知症対応力向上研修

【日時】平成 30 年 1 月 19 日（金）、平成 30 年 1 月 26 日（金）
19 時～21 時

【受講者】歯科医師 53 名

エ) 薬剤師認知症対応力向上研修

【日時】平成 29 年 12 月 7 日（木）、12 月 13 日（水）
18 時 30 分～20 時

【受講者】薬剤師 75 名

⑤看護職員認知症対応力向上研修

【日時】

第 1 回 平成 29 年 6 月 1 日（木）～3 日（土）9 時 30 分～16 時 30 分

第2回 平成29年7月13日(木)～15日(土)9時30分～16時30分

第3回 平成29年9月7日(木)～9日(土)9時30分～16時30分

【受講者】看護師 197名

認知症対応力向上研修修了者の情報は仙台市ホームページに掲載。

④認知症初期集中支援チームの設置

早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受け入れられる初期の対応体制が構築されるよう、複数の専門職による認知症初期集中支援チームを設置し、認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行う。

【新オレンジプラン目標】認知症初期集中支援チーム設置を平成30年度以降すべての市町村で実施

【表5】<本市の取組み状況>

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
訪問件数	12件	16件	155件	59件	34件
相談事例	16件	27件	34件	23件	21件

平成25年度に認知症初期集中支援チーム設置促進モデル事業を実施し、3か所の地域包括支援センターエリア(国見、小松島、向陽台)を対象に1チームを設置。平成27年度は青葉区、宮城野区、泉区の3区32か所の地域包括支援センターエリアを増やし、2チームで実施。平成28年度より全市を対象とし、4チーム構成としている。

(3) 本人・家族支援の取組み

①認知症地域支援推進員の配置

認知症の容態の変化に応じた適切なサービスが提供されるよう、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の連携を図るための支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

【新オレンジプラン目標】認知症地域支援推進員 平成30年度以降すべての市町村に配置

<本市の取組み状況>

市内の地域包括支援センター、本庁及び区障害高齢課に配置。認知症地域支援推進員が中心に実施する認知症ケアパスの作成、認知症カフェ等の設置について、研修等の開催によりスキルアップにつながる支援を実施。

②認知症カフェ等の設置推進

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進している。

【新オレンジプラン目標】認知症カフェ等の設置・普及 認知症地域支援推進員等の企画により、地域の実情に応じ平成 32 年度までに全市町村に普及。

＜本市の取組み状況＞

平成 27 年度に本市における認知症カフェのあり方を検討し、分類を整理した上で開催情報を一覧にまとめ、市ホームページ上で公開。

【カフェタイプ 56 ヶ所、家族交流会タイプ 17 ヶ所、本人中心タイプ 4 ヶ所（平成 30 年 3 月時点）】

認知症カフェの立ち上げ・継続運営に資する目的で研修や情報交換会を開催。

ア) 認知症カフェ・モデレーター研修

【日時】平成 29 年 11 月 1 日（水）9 時～17 時 10 分

【受講者数】34 名

イ) 認知症カフェセミナー2018

【日時】平成 30 年 1 月 20 日（土）13 時～17 時

【参加者数】148 名

③認知症ケアパスの作成・普及

認知症の人やその家族、地域住民に対して、認知症の人の生活機能障害に応じた本市の取組みを体系的に分かりやすく示した「認知症ケアパス」を作成・普及している。認知症になっても社会とのつながりの中で生活が続けられること、早めに専門機関に相談することが大切なこと、そして相談窓口がたくさんあることを伝える。

＜本市の取組み状況＞

認知症を発症した後の容態に応じた進行状況にあわせた医療・介護サービスや相談場所の情報を示す「全市版ケアパス」を作成し、平成 29 年度は 40,000 部増刷し、各所で配布した。

また、地域包括支援センターが中心となり認知症に係る様々な地域資源の情報を収集・整理した「地域版ケアパス」は平成 29 年度末までに 48 センターで完成。（その後 50 センターで完成。30 年度新設の 2 センターは 30 年度末完成を予定。）

さらに、当事者を含むワーキンググループを実施し、診断直後の思いや日々の工夫、これからの希望など、本人の声を集めた「個人版ケアパス」を 2,000 部作成。

④認知症の人の見守りネットワーク構築

認知症の人が行方不明となった場合に、24 時間 365 日間家族等からの電話を受け付け、協力者に電子メールを配信し協力を依頼することで、早期発見・保護の一助とする。

<本市の取組み状況>

平成 30 年 2 月にネットワークの構築が完了し、平成 30 年 3 月より運用開始。

【登録者 9 名、協力者 99 名（平成 30 年 3 月末時点）】

事業開始にあたり、市政だより（平成 30 年 3 月号）に掲載。そのほか、地域包括支援センター等を通じ地域で普及・啓発に努めた。

（４）良質な介護の提供

①認知症介護実践研修等

認知症介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する基礎的及び実践的な研修を実施。

【表 6】 <本市の取組み状況>

研修名	内容	H29 年度受講者数
認知症介護指導者養成研修	現場経験おおむね 10 年以上の者が研修の企画立案・講師役等となるための研修	2 名（本市から推薦した者が受講） (H29 末累計 38 名)
認知症介護指導者フォローアップ研修	認知症介護指導者養成研修終了後 1 年以上を経ている者向けの研修	1 名（本市から推薦した者が受講）
認知症介護基礎研修	新任の介護職員等が認知症介護に最低限必要な知識・技能を修得できる研修	66 名 (年 1 回実施)
認知症介護実践者研修	現場経験おおむね 2 年以上の者が認知症介護の理念、知識及び技術を修得するための研修	239 名 (年 4 回実施)
認知症介護実践リーダー研修	現場経験おおむね 5 年以上の者が事業所内のケアチームの指導者役となるための研修	38 名 (年 1 回実施)
認知症対応型サービス事業開設者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業所又は指定認知症対応型共同生活介護事業所の代表者に対する研修	4 名 (年 1 回実施)
認知症対応型サービス事業管理者研修	指定認知症対応型通所介護事業所等の管理者又は管理者になる予定の者に対する研修	57 名 (年 2 回実施)
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者又は予定の者に対する研修	19 名 (年 2 回実施)

②介護サービス基盤の整備

認知症の人が、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などの訪問・通所系サービス、認知症対応型共同生活介護や特定施設入居者生活介護などの居宅サービス等を利用し、様々な形で介護サービスと関わりながら生活していくに当たって、多様な介護サービス基盤の整備を進めていく。

<本市の取組み状況>

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成 27 年度～平成 29 年度）に基づき、介護サービス基盤の整備を推進。

【表 7】

	H27～29 年度 整備目標数	H27 年度 選定数	H28 年度 選定数	H29 年度 選定数	総定員数※1 (H30.4.1 現在)
特別養護老人ホーム	700 人分	479 人分	259 人分	214 人分※2	4,722 人分
介護老人保健施設	360 人分	300 人分	100 人分	—	3,480 人分
認知症対応型共同生活介護	360 人分	166 人分	198 人分	—	1,979 人分
小規模多機能型居宅介護	12 事業所	4 事業所	2 事業所	2 事業所	40 事業所
特定施設入居者生活介護	360 人分	222 人分	165 人分	—	2,516 人分

※1 開所予定の定員数を含みます。

※2 第 7 期計画（平成 30 年度～平成 32 年度）の前倒し分（180 人分）を含みます。

（5）仙台市認知症対策推進会議

本市における認知症に関する課題、認知症対策に関する施策の進行管理及び評価や関係機関の取組状況に関し、関係機関において協議、情報交換等を行う。

会議の委員は、医療・福祉・保健・相談機関等のほか、認知症の当事者と介護家族をもって構成され、会議の開催状況、内容等については仙台市ホームページで公開している。

平成 29 年度は 9 月 1 日（金）、1 月 25 日（木）の 2 回実施。